

美術科指導案

令和5年10月20日（金）6時間目

授業者：教諭 濱地文恵

生徒：1年B組（35名）

場所：美術室

1. 題材構成・計画

教科名	美術科	学年	1年	時期	10月
題材名	広がる模様の世界 ～chromebook を活用したデザインの工夫～				
目 標	知識及び技能 (知)【1】	自然物や人工物などの形や色彩の美しさから主題を生み出す。			
	知識及び技能 (知)【2】	日本の伝統文様について理解を深め、日本人の生活や美意識について関心を持ち、制作に生かす。			
	知識及び技能 (技)	主題を基に、画材や描画キャンバスなどの特性を生かし、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表す。			
	思考力、判断力、表現力等 (発)	身近な自然物や人工物の特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫し、調和のとれた美しさなどを考え構想を練る。			
	思考力、判断力、表現力等 (鑑)	文様から調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。			
	学びに向かう力、人間性等 (態表)	自然物や人工物の特徴などを生かして模様をデザインし、構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練り、意図に応じて工夫し見通しを持って表現する。			
	学びに向かう力、人間性等 (態鑑)	お互いの作品を鑑賞し、制作の意図を理解し、表現の意図と工夫などについて考え見方や感じ方を広げる。			
評 価	評価の観点	評価規準		評価材料	
	知識・技能 (知)【1】	自然物や人工物などの形や色彩の美しさから主題を生み出している。		●1 ワークシート1	
	知識・技能 (知)【2】	日本の伝統文様について理解を深め、日本人の生活や美意識について関心を持ち、制作に生かしている。		○1 CBT	
	知識・技能 (技)	主題を基に、画材や描画キャンバスなどの特性を生かし、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。		●1 ドキュメント1 ○1 ワークシート2 ○2 ドキュメント2 ○3 ドキュメント3（作品）	
	思考・判断・表現 (発)	身近な自然物や人工物の特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫し、調和のとれた美しさなどを考え構想を練っている。		●1 ワークシート1 ●2 ドキュメント1 ○1 ワークシート2 ○2 ドキュメント2 ○3 ドキュメント3（作品）	
	思考・判断・表現 (鑑)	文様から調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。		○1 観察	
主体的に学習に取り組む 態度（態表）	自然物や人工物の特徴などを生かして模様をデザインし、構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練り、意図に応じて工夫し見通しを持って表現している。		○1 観察		

	主体的に学習に取り組む 態度（態鑑）	お互いの作品を鑑賞し，制作の意図を理解し，表現の意図と工夫などについて考え見方や感じ方を広げている。	○1 観察		
指導と評価の計画			評価計画		
時数	ねらい・学習活動等		知	思	主
1	○オリエンテーション ・題材についての説明 ・文様についての説明 （文様の歴史や文様に込められた思いについて） ○アイディアスケッチ【ワークシート1】 ・何に模様を使用するか考える。 ・デザインに使用するモチーフを考える。 ・モチーフをアイディアスケッチする。 ・chromebook を活用し，モチーフやそれに関する模様を調べる。		(知) 【1】 ●1	(発) ●1	
2	○CBT（前回学習した文様についての知識を問う問題） ○基本のデザインの作成（鉛筆・色鉛筆を使用）【ワークシート2】 ・制作方法を確認する。 ・アイディアスケッチにアドバイスをする（班活動）。 ・ワークシート1をもとにワークシート2に基本のデザインを描く。		(知) 【2】 ○1 (技) ○1	(鑑) ○1 (発) ○1	(態鑑) ○1
3	○基本のデザインの作成（描画キャンバスを使用）【ドキュメント1】 ・描画キャンバスでの制作方法を確認する。 ・ドキュメント1の提出の仕方について確認する。 ・描画キャンバスで基本のデザインを作成する。 ・基本のデザイン（制作途中）をドキュメントに挿入し提出する。		(技) ●1	(発) ●2	
4 (本時)	○基本のデザインの決定【ドキュメント2】 ・基本のデザインの作成について確認する。 ・ドキュメント2の提出の仕方について確認する。 ・他国の文様について知る。 ・前回提出したドキュメントに対してのコメントを確認する。 ・コメントを踏まえ，基本デザインを制作する。 ・完成した基本のデザインをドキュメントに挿入し提出する。 ○基本のデザインをもとに連続した模様を考える。 ・基本のデザインをもとに配置などを工夫して模様を考える。		(技) ○2	(発) ○2	
5	○模様の作成【ドキュメント3（作品）】 ・ドキュメント3の提出の仕方について確認する。 ・基本のデザインを使用し，模様を作成する。 （ドキュメントかスライドを使用） ・完成した模様をドキュメントに挿入し提出する。		(技) ○3	(発) ○3	(態表) ○1

※○主に評定に用いる評価

●主に学習改善につなげる評価

2. 指導計画における学習履歴を利活用した活動について

1	<p>< C B T ></p> <p>授業内で、前時の内容に関する C B T を実施する。(評定に用いる評価) 生徒の解答結果の状況に応じて、前時の内容の補足説明を行う。また、C B T を行うことで、文様について理解を深めさせ、今後の作品制作に生かす。(学習改善につながる評価)</p>
2	<p>< 美術のクラスルーム ドキュメント提出 ></p> <p>描画キャンバスで作成した基本のデザイン(制作途中)をドキュメントに挿入し提出する。提出されたデザインに対してコメントを記入する。(学習改善につながる評価) 完成した基本のデザインと制作途中のものを比較し評価を行う。(評定に用いる評価)</p>

3. 本時案 (4 / 5)

(1) 本時のねらい		
知識及び技能 (技)	主題を基に、画材や描画キャンバスなどの特性を生かし、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表す。	
思考力、判断力、表現力等 (発)	身近な自然物や人工物の特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫し、調和のとれた美しさなどを考え構想を練る。	
(2) 学習の展開		
学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点 ●・○評価の方法
1 前時学習内容を復習する。	1 生徒の状況を把握し、補足の説明等を行う。	
本時の課題：基本のデザインを決定する。 基本のデザインを基に連続した模様を考える。		
2 目標を確認する。 ・順序を考えて見通しをもって制作する。 ・意図に応じて、形や色、表現を工夫する。	2 目標を確認させる。 (黒板に記入済み)	
3 学習内容の確認 ・基本のデザインの作成、ドキュメント2の提出の仕方、模様の作成の仕方について確認する。 ・他国の文様について知る。 ・前回提出したドキュメントに対してのコメントを確認する。	3 学習内容を確認させる。 ・基本のデザインの作成、ドキュメント2の提出の仕方、模様の作成についてキャストを使用して説明する。 ・他国の文様について紹介する。 ・前回提出させたドキュメントに対してのコメントを確認させる。	
4 基本のデザインを作成する。 ・コメントの内容を確認し、基本デザインを制作する。 ・基本のデザインを完成させる。 ・完成した基本のデザインをドキュメントに挿入し提出する。	4 基本のデザインを作成させる。 ・基本のデザインを決定し、決定後はドキュメントに挿入し提出するように指示する。 ・机間巡視を行い、個別指導を行う。	(技) ○ 2 (発) ○ 2

5 模様を考える。 ・基本のデザインの組み合わせや配置を工夫して模様をつくる。 ・配色を工夫する。	5 模様を考えさせる。 ・机間巡視を行い、個別指導を行う。	
6. 振り返り、次回の持ち物等の確認	6. 授業の振り返りを行い、次回の持ち物を確認する。(黒板)	

(3) 主に学習改善につなげる評価と改善の手だて

知識・技能(技)	C (手だて)	美術のクラスルーム ドキュメント提出 ・提出された基本のデザイン(制作途中)に対して、コメントを記入してアドバイスを行う。
思考・判断・表現(発)	C (手だて)	美術のクラスルーム ドキュメント提出 ・提出された基本のデザイン(制作途中)に対して、コメントを記入してアドバイスを行う。

(4) 主に評定に用いる評価と改善の手だて

知識・技能(技)	A	主題を基に、画材や描画キャンバスなどの特性を生かし、意図に応じて表現を追求し、制作の順序などを考えながら見通しを持って積極的に表現している。
	B	主題を基に、画材や描画キャンバスなどの特性を生かし、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。
	C (手だて)	基本のデザインはできているが、描画キャンバスの作業で改善が必要。 手だて：提出されたドキュメントを確認し、コメントを記入する。授業の机間巡視の際、個別指導を行う。
思考・判断・表現(発)	A	身近な自然物や人工物の特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩を単純化・強調して構成を工夫し、調和のとれた美しさなどを考え積極的に構想を練っている。
	B	身近な自然物や人工物の特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫し、調和のとれた美しさなどを考え構想を練っている。
	C (手だて)	基本のデザインがイラストの状態、デザインになっていない。 手だて：提出されたドキュメントを確認し、コメントを記入する。授業の机間巡視の際、個別指導を行う。